

福報 にわかぜん

発行 富山県入善町役場
 編集発行責任者 宮腰由則
 印刷 株式会社東光印刷
 昭和46年3月8日発行

号 外

○…わたしたちの毎日の生活をよりよくするため、町ではいろいろな計画をたてておりますが、今回はそのうちのいくつかをお知らせいたします。

○…町民税の三千万円の減税、主要町道の六か年間の舗装完了など、数多くの施策や建設的な事業を盛り込んだ新年度の予算案の骨子、福祉会館や老人憩の家の建設分譲宅地の造成など町の計画も念頭におき、「家そろうってユタツ」を囲んで、わが家の生活設計を検討してみるのもまた楽しいものです。

○…「うちの前の道路が舗装されたら、土を盛って花壇をつくりましょう。」とお母さん。「そうしたらユリとチューリップとマンパボタンと…それからヒマワリも」と、花の名前をならべる孫娘に、目を細めてうなずくおじいちゃん。きつとそんな家庭もあるのでは…とにかく来年度は、良いことがたくさんありそうです。



武村米藏さんが

福祉会館の 寄附を約束

〇〇 七月に着工、明年中に完成 〇〇

福祉会館の寄附を約束される武村さん（中央）二月九日議場で

武村社長郷土を訪問

深い郷土愛に実る

待望の福祉会館

「武村福祉会館」と名づけたい…… 柚木町長

郷土出身で、いま大阪で関西鉄工社長として活躍をしておられる武村米蔵さん（吉原出身）が、かねて町民が待望していた福祉会館を寄附されることになり、去る二月八日、町からの強い要請に快く来町されました。

武村さんは、全く崇高な郷土愛から、郷土町民のために最も役立つ福祉会館の寄附を申し出られたもので、八日午後一時五十九分富山駅に着かれました。既に大阪市などでも、たくさん類似施設を視察調査しておられるもので、途中の滑川市と黒部市では、同種の会館をつぶさに視察されました。また建設中の役場庁舎の現場に立ち寄られた際は、監督員の説明を熱心に聞き、工事がたいへんよく進められていると喜んでおられました。そして午後四時三十分過ぎ役場に着かれて小憩の後、柚木町長らの案内で、会館建設の候補地である中央公民館広場と入善神社境内を視察して、当局の説明を聞かれました。

翌九日は午前九時に町長室にお出になり、会館建設について柚木町長と協議し、引き続き議場で開かれた町議会議員、町有志との懇談会の席上、「わたしは、かねてから何か郷土のために尽くしたいと考えていたやきに、町から福祉会館の建設を計画していることを聞き、昨年十二月、建設費の全額を寄附する腹を固め、今度その決意を表明するため帰省しました。」と寄附の意志を正式に明らかにされました。また「福祉会館建設を、わたしの余生の事業として

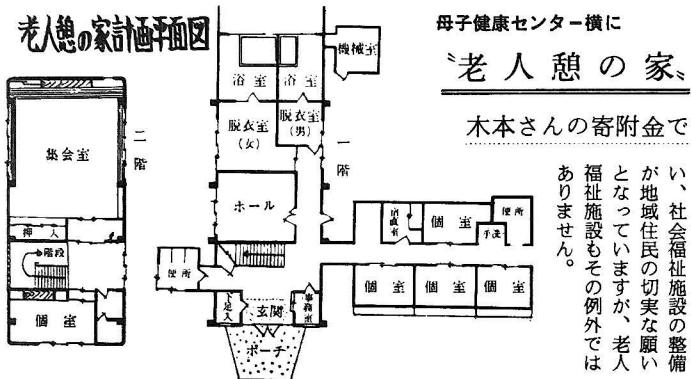
全財産を打ち込むつもりで、この工事が完成するまでは死に切れない。」と、会館建設への強い決意のほどと郷土愛の深さをほのめかし、建設する会館は町の希望を聞いて、今後の規模構想の資料にしたいとも述べられました。

これに対して柚木町長、嶋田町議会議長は、多年の懸案だった福祉会館建設のため、極めて崇高な郷土愛から快くご協力を賜わり、三万町民に代り深く感謝するとともに、そのご厚志を永く記念するため、「武村福祉会館」と名づけたいとの感激のあいさつを述べました。

町には以前から「大ホールを備えた会館が欲しい」という住民の希望が強かったが、財政事情から今日まで達成できなかったものです。しかし柚木町長が昨春就任して、積極的

社会投資の施設方針を打ち出し、福祉会館建設を公約してその財源を確保するためのいろいろと苦勞した結果武村さんの寄附を仰ぐことになったのです。

母子健康センター横に
老人憩の家
木本さんの寄附金で



洋戦争中に大阪に移ってコルク工場、鉄工業と事業を拡大し、現在の関西鉄工を築き上げて成功された立志伝中の人で、これも母校の上原小学校へ武村文庫の寄贈を続けられており、今回は贈りたという尊いお気持ちから、福祉会館を寄附されることになったものです。また関西鉄工の専務である息子さんも社長の意志に同調され、「お父さんの元気なうちにぜひおやりなさい。」と快く協力を約束されたものです。

鉄筋コンクリート三階建

大ホールや結婚式場も

福祉会館の構想は、鉄筋三階建てで間口六十五メートル、奥行十五〜二十メートルの防火、避難対策を完全にしたもので、新年度はその第一段階として、予算案に建設費の一部約四千万円を寄附財源として計上し

生活様式の都市化に伴い、社会福祉施設の整備が地域住民の切実な願いとなっていますが、老人福祉施設もその例外ではありません。

このため町では、明るく住みよい町づくりの一環として、さきに木本幸与作さん（木根出身）から寄附のあった一千万円を基金として、これに町費を継ぎ足して「老人憩の家」を建設することにしました。この「老人憩の家」は、将来は老人福祉センターとして施設の整備をはかり老人のみならずがいつまでも明るく健康で長生きしていただくよう、健康相談、機能回復訓練やレクリエーション、老人クラブ活動などに安い費用で利用していただくことを目的に、今年

はさしあたりその一部を整備するものです。なお木本さんは、大変孝心のあついで、郷里におられた高齢の母親を志せておられたことが、去る一月三十一日他界されたため、帰省しておられた木本さんと柚木町長の会談により、このことが計画されるはこびと

てあります。

間取りについては、住民の各種集いの総合センターとしての多角的利用を考慮して、暖房を完備した大ホール、結婚式場、図書館、町民会議室、研修室など、が考えられていました。また武村さんは、設置場所が入善神社の氏子の皆さんの協力で、入善神社の境内の一部で建設できれば、その中に社務室なども設け、結婚式場の神職と結びついた構想をたてておられます。

このため町では、入善神社氏子総代、同神社委員、関係各

長と相談した結果、会館建設敷地は入善神社附近にほぼ確定したため、神社境内に隣接した東

側を確保し、境内の拡張に併せて緑地帯とした方針です。

また二月二十七日には武村さんから、会館建設資金の一部として、四千万円を北陸銀行大阪支店へ預け入れた旨、柚木町長に通知がありました。

一挙に標準税率に……町民税

三千万円を減税

46年度の 予算案まとまる

三月に開催の町議会に提案する、昭和四十六年度の予算案がまとまりました。この予算案の編成にあたっては、第一に計画的積極財政を推進すること。つまり、起債が認められる事業や大福な国庫補助が期待できる事業、そして大きな寄附金を仰ぐことのできる建設的な事業は、積極的に推進すること。第二には住民負担の軽減をはかりながら、かつ道路舗装、海岸保全などの社会投資を強力に推し進めること。第三には生活環境の整備と福祉施設の拡充を行なうこと。以上三つを基本方針として明るく住みよい町づくりに、一般会計十一億五千万円、国民健康保険特別会計で二億四千二百五十万円、簡易水道特別会計では二百二十七万七千円、合計十三億四千九百七十七万七千円という超大型予算が組まれています。今回は、この予算案の中に盛り込まれている、目新しい事業や施策などについてお知らせします。

◇その他の事業

○分譲宅地の造成——約百戸の宅地を造成し分譲する。
○保育所の新設——舟見保育所を移転改築するほか、百二十名の乳幼児を収容できる南部保育所を新築し、町中心部における保育所入所難を緩和する。

主要街道の舗装

六か年で完了を!

一般的に事業に目を向けてみますと、まず道路の新設改良と町道の舗装促進には意欲的な計画がみられます。ことに町道の舗装に関しては、昨年完成したアスファルトプラントをフルに活用して、約八キロメートルを舗装したい考えです。
また、漁業者の長年の夢である漁港の早期完成、海岸の保全事業などにも強気に推し進め、農業事業に対しては、農業近代化対策事業を推進するために補助金を増額または継続すること。商工業の育成に対しても補助金を増額するなど、産業の振興に全力投球で臨む方針がうかがえます。なおこのほかの事業についても、町からの補助金は増額して、計画性をもった事業の進ちょくを図ろうとしています。

自己負担を一割にする。市町村圏の中で行なう事業も多く、生活環境施設の拡充に「力こぶ」がいられていることが特筆されます。

○じん芥焼却場の設置——朝日町と共同で四十トン炉を築造する。(広域圏施設)

○し尿処理施設の増設——一日当り六十五キロリットルの処理能力をもつ消化槽を増設する。(広域圏施設)

○伝染病隔離病棟の増設——病舎を新築して、病床を四十増設する。(広域圏施設)

○広域消防施設の設置——黒部市に消防センターを建設し、化学消防車、無線機を購入して、消防の近代化、広域化をはかる。(広域圏施設)

○不燃焼物捨場の確保——町単独で約三千方メートルの捨場を確保する。

◇福祉施設の整備

目白押し

建設的な事業

——南部保育所の新設も——
○福祉会館の建設——武村米蔵さんの寄附によるもの。
○老人憩いの家の建設——木本幸与作さんの寄附を中心としたもの。
○老人の健康対策としては、保健婦の訪問活動を活発にして健康管理指導を徹底させ、家庭からの医療費の出費を少なくして一石二鳥の効果をあげるとともに

◇住民負担の軽減策

医療費の負担を軽減

○町民税率の引き下げ——現行の標準税率の一・三倍を、一挙に一・〇倍にまで引き下げ、約三千万円の減税を行なう。ただし固定資産税については、現行税率の百分一・四を一・五に引き上げる。(舟橋村、富山市以外の市町村は一・五の一・七である。)
○老人医療費負担の軽減——現行三割の自己負担を、七十五歳以上の老人については町と県がそれぞれ一割を負担し、

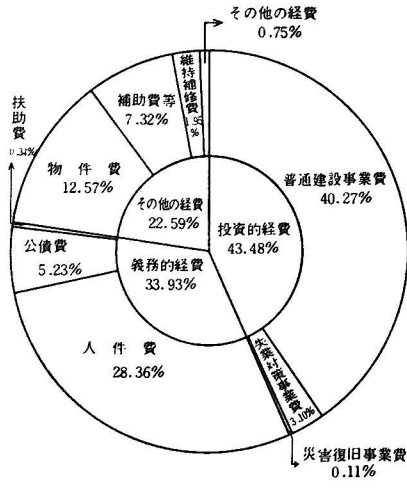
◇生活環境の整備策

じん芥焼却場

朝日町と共同で

生活環境の整備策としては、昨年指定を受けた新川地区広

(3) 広報にゅうせん 一般会計性質別経費の分類



巡回交通事故相談

(無料) 三月十八日 午前十時～午後三時 入善町役場

(4) たゞ医療費が増大しても、国民健康保険税については、増税を行なわぬ方針です。
このほかの大きな問題の一つとしては、柚木町長の施政の柱でもある「計画町政の推進」のため、来年度においては町の長期建設計画を推し進め、希望にあふれる町づくりの布石の年としたいと考えています。

耳よりな話し

分譲宅地

一区画七十〜百余坪までいろいろ

町では、町内在住者もしくは町外の者で、本町で新たに住居を構え永住する者、または近年中に新たに宅地を求め、住宅を建設しようとしている者の申込みを受け、別に定める分譲宅地規定に該当する者に分譲する宅地を造成するため、いまその準備を急いでおります。

なお、計画しておられます分譲宅地の内容や分譲方法は次のとおりです。

■分譲宅地の内容
(1) 入善駅と国道八号線を結ぶ都市計画道路(町道入善駅国道線)の中間地点で、入善駅、八号線へいずれも数

入善駅舎を改築

三月一日に開かれた国鉄本社の常務理事会で、入善駅舎の改築が正式に決定されました。伸びゆく入善町の表玄関として完成が待たれます。

あなたも

転職者訓練を

溶接科には家庭の主婦も

入善高等技能学校では、機械板金、溶接の三職種について、一年間の養成訓練(新規学卒者対象)と転職訓練(中高年齢者対象)を実施しておりますが、昨年の十月から、農業をやめて他の職業にしようとする人や、農業のほか新しい技能を習得しようとする人のために、短期の訓練課程を設けました。内容は次のとおりです。

●訓練職種 板金 溶接

●訓練期間 原則として六か月(希望により三か月修了を認めております)

●入学時期 四月、十月、一月

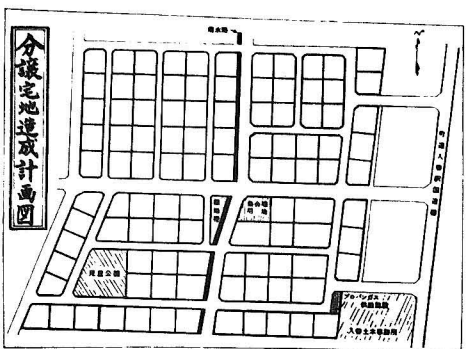
●男女の別、年齢は問いません。

●特典 月額約二万七千円の訓練手当のほかに通学手当が支給されます。溶接六か月課程ではアセチレン溶接六か月課程許、電気溶接二級免許の取得が可能です。



家庭の主婦も……

■分譲方法
一戸の敷地は七十坪(約二百三十一平方メートル)〜二百二十坪(約四百平方メートル)までいろいろありますが、代金は購入契約と同時に二分の一を納め残金は五年以内の年賦支払いとす、その際の利息は年八分一厘とします。したがって、一区画が百坪ある敷地が、かりに坪当り一万三千円なら百三十万円の半分の六十五万円は契約の際支払ひし、残る六十五万円は五年以内に利息と共に支払うこととなります。なお、この申込みの受付は、今年の四月から行なう予定です。



五名となっていて、技能習得のためには、年齢は少しも問題ではありません。より安定した豊かな生活を築くために、ぜひ技能を身につけられるようおすすめします。

射水郡小杉町の

果の訓練センターでも

富山県立職業訓練センターでも、訓練期間が一年間の建築科、六か月の溶接科、ブロック建築科、建設機械運転科、塗装科を設け、技能者を養成しています。入所時期は建築科が四月上旬と十月中旬、そのほかの科は四月、七月、十月、一月です。農業者訓練にはいろいろな特典がありますので、入所等に特異がありますので、内所等については役場農政課内の黒東農村人材銀行、または転職相談員(竹島米吉氏)に問い合せ下さい。

電話番号が

かわります

十二日午前十時から

入善電報電話局では、将来の入善町の電話増にそなえ、「入善七三局」の局番を、この三月十二日午前十時からスタートさせます。

この局番は、入善局に收容されている地域集団電話(農集)につけられるもので、電話番号が大幅に変るところもありますので、地域集団電話へかけるときは、新しい電話番号を臨時電話帳でよくたしかめてからダイヤルしましょう。

- 局番も加入者番号も変る地区
 - 飯野第一 七三一六×××
 - 飯野第二 七三一二×××
 - 芦崎 七三二五×××
 - 局番だけが変る地区
 - 小摺戸 七三二七×××
 - 新屋 七三一八×××
 - 横山 七三二三×××
- ※一般の加入電話、舟見局收容の地域集団電話は従来どおり変りません。